

第1号議案

令和7年度 事業報告

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

令和7年度は、米国の関税政策の影響による国内の金融政策や為替相場、輸出を中心とした混乱に始まり、年度末にはアメリカのイラン攻撃によるホルムズ海峡の封鎖で、石油製品の価格上昇が起これ、賃金上昇を飲み込むような物価の高騰が個人消費にも影響を与えてきました。

年明けの総選挙では自民党が衆議院の3分の2の議席を獲得し、高市総理の積極財政が推し進められることとなりましたが、日本の赤字財政不安から今後も円安傾向が続くことが予想され、物価の高騰は先が見えない状況です。

このような中、商業を取り巻く環境は、厳しい状況が続いていますが、市商連としては基本理念に基づく事業活動を着実に実施してまいりました。以下、主だった事項について述べてまいります。

第1の柱である情報発信事業では、市商連のホームページに、商店街への各種支援制度（国・県・市）や商店街のイベント情報、プレミアム商品券の情報、支部長会議・総会・理事会の結果報告及び毎月発行している市商連ニュースを掲載してまいりました。また、街路灯広告専用ページにおいては、広告掲出希望企業等に向けて商店街街路灯広告の周知を図ってまいりました。

SNS（Facebook）についても、ホームページと連動して、商店街のイベントや商店街の取組み等の情報発信を積極的に行いました。

さらに、商店街への支援策や補助制度などの重要な情報については、全会員商店街（商店会）に、支部長会での情報提供のほかメール等での情報提供も行ってまいりました。市商連ニュースについても毎月発行し、商店街や個店に有益な情報の提供に努めてまいりました。

第2の柱である政策提言活動では、7月上旬に、自民党・公明党・みらいの各会派の川崎市議団と市商連役員が、商店街振興策等について意見交換を行いました。令和8年度の川崎市への予算要望として、「商店街の在り方を見据えた行政の組織と計画づくりについて」「（商業振興の予算に関連した）市の商店街支援策について」「商店街支援補助金（補助率）について」「市商連の団体運営費補助金の増額」「市商連加入団体への支援」「商店街街路灯に対する電気料金補助額の

増額」「街路灯の維持管理に対する新たな補助制度の創設」などを要望しました。

その結果、LED街路灯電球交換費用についての新たな補助金創設や、新規出店しようとする事業者等を支援する「川崎市チャレンジ店舗支援事業」での商店街や市商連の会員に対するインセンティブの創設などが新たに行われることとなりました。

また、11月と2月には、市商連役員と経済労働局商業部門の部長以下の職員で、商店街に関連する課題について意見交換を行い（市商連ニュース134号に概要掲載）、市の新たな総合総合計画への反映や予算編成に向けた取り組みを要望しました。

第3の柱である活性化事業では、商業情報研修事業と商店街観光ツアーなどを以下のとおり実施いたしました。

1 商業情報研修事業

（1）先進商店街視察

12月5日（金）に横浜市の六角橋商店街を視察し、マーケティング、ブランディングについて説明を受けるとともに、専門家による講義や意見交換を行いました。参加者は市商連会員、関連団体他全24名 六角橋関係者4名

3月11日（水）には、中原区商連と共催で久里浜商店街を視察し、商店街活性化策について説明を受けました。観光物産施設の見学も行い、事業失敗からの復活事例なども学ぶことができました。参加者は全19名

（2）商店街活性化講演会

2月9日（月）に川崎市産業振興会館会議室において実施し、30名の参加がありました。講演会等の内容は以下のとおりです。

① 講演：『地域特性を見つめ直しそれをもっと活かした

商店街づくりの具体策』

講師：一般社団法人商店街学会 代表理事 大場 保男 氏

② 商店街取組紹介：

テーマ：ライブ配信事業「駅前再開発中の買物困難対策とまちの活性化」

発表者：さぎ沼商店会 副会長 佐々木 良司 氏

③ 情報提供：商業支援メニューの紹介

発表者：（公財）川崎市産業振興財団産業支援部中小企業サポートセンター

（一社）川崎中小企業診断士会

川崎市経済労働局観光・地域活力推進部

2 商店街観光ツアーの開催支援

商連かながわの支援事業であり、市商連もバックアップに加わり、ここ数年川崎市内の商店街で実施されているもので、本年は12月14日（日）に、宮前区商店街連合会が実施しました。

今回のツアーは、スポーツと商店街の街歩きをテーマに、宮前区を拠点に活動されているスカッシュチームの指導による競技体験や、プロ選手を輩出した鷺沼のサッカースポットを巡りながら、魅力ある商店も紹介する内容でした。

市の産業振興財団のコンテストで賞を受けたピザ窯を使い、鷺沼のワインバーでピザの試食会なども実施しました。商店街ツアーの常連の他に、地元住民の参加もあり、地域と商店街の繋がりづくりのきっかけにもなり、25名の参加者に宮前区の魅力を体感していただきました。

3 地区商業調査研究支援事業

(1) 各地区が実施する研究事業等に対し、市商連として支援いたしました。

9月3日～4日に実施した中原区商連夏季大学（参加者23名）に助成金を交付しました。

テーマ：「地域に根づくイベントづくり」

講師：秩父市商店連盟連合会 島田 憲一氏

(2) 区商連個別訪問説明会

地区商連の理事会などに訪問し、補助金情報や支援メニューなどを直接説明する機会として、個別訪問説明会を下記のとおり実施しました。

7月15日 多摩区商店街連合会

(3) アーケードフラッグ研究会

アーケード内の街路灯有料広告について、行政と商店街関係者が課題の抽出、制度の確認、今後の対応策について議論・研究しました。また、その結果をもとに、市が実施する専門家による審議会において、今まで認められていなかったアーケード内での有料広告（フラッグ広告など）について一部実施可能との答申も受けました。新年度も継続して、アーケードフラッグについての研究調査を進めて行く予定です。

・実施日 10/21 11/6 2/18

(4) 川崎市制100周年記念事業後の関連イベントへの協力

100周年記念事業で繋がりが生まれた様々な人や団体が連携して活動する

“COLORS, FUTURE! SUMMIT” に市商連が事業協力しました。

人のつながりに商店街が欠かせないという主催者からの依頼に対し、ワークショップやフォーラムなどに市商連の役員が参加しています。

① 適正飲酒セミナー&ワークショップ

8月28日(木) KSP 9月25日(木) 川崎商工会議所

② COLORS, FUTURE! SUMMIT 2025カンファレンス

11月2日(日) 川崎ルフロン

4 商店街魅力アップ支援事業

商店街のイベント事業や地域の課対応事業に対し市が行う補助金について、補助金請求資料の確認、事業の広報支援業務などについて川崎市から委託を受け対象となった31件の事業について作業を行いました。

5 街路灯の広告掲出支援事業

溝ノ口駅前商店街振興組合、かしまだ駅前通商店街振興組合などで商店会収入につながる企業広告の確保への支援を行いました。

会員でない商店街が広告を希望する場合については、広告物のデザイン審査を実施しました。

6 地域貢献活動支援事業

川崎フロンターレに対する支援事業では、ホームゲームの試合終了後にその試合で最も印象に残った選手に「あんたが大賞」として 市内各区の名産品などの賞品を贈呈しました。【各地区商連及び市商連、市商連青年部】

第4の柱である後継者育成事業としては、各種委員会への出席や商店街活性化講演会の企画及び運営、チラシ作成を行いました。

以上これらの事業実施・取り組みにあたりましては、会員各位のご理解・ご協力のもと、川崎市、川崎商工会議所並びに商連かながわのご支援を賜り、所期の目的を達成することができましたことを、心から感謝するものであります。

以下、実施した事業概要についてご報告いたします。